



	<p>②講義「夢に向かって生きる」          ・体育館、3～6年生参加          ※開閉会行事あり</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>一流アスリートによるデモンストレーションを目の前で観戦することで、そのパフォーマンスの高さに驚きと感動を覚え、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、一流選手への憧れの思いを抱く子も多くいた。</p> <p>また、夢に向かって努力を積み重ねることや、周囲の支えてくれる人たちへ感謝の思いをもつことの大切さを、自身の体験にもとづいて話をさせていただき、「夢に向かって生きる」こととはどういうことなのかを考えさせられた。</p> <p>以上のように、スポーツへの関心を高めること、自らの生き方について考えることができたことが、大きな成果と言える。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>短時間の実施ではあったが、それぞれの学年の発達段階に応じた学びを保障するため、デモンストレーションと講義、二つの活動を設定した。また、6年生の代表児童に体験をさせることで、見るだけではなく実体験から得られる思いも全校で共有できるようにした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>講師との詳細な打ち合わせを行うことが難しく、当日、臨機応変に対応を求められることがいくつかあった。</p> <p>今回、アスリートの招致などに本校以外の方にもお力添えをいただくことができたので、大変助かった。このようなシステムが継続していくと、各校での実施も可能となると思われる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピック・パラリンピック競技の体験や、地元にはゆかりのある選手による運動教室等を総合的な学習のカリキュラムの中などに組み込んでいくことで継続していきたい。</p>